

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査  
児童生徒質問紙調査の分析結果と改善方策(概要)

※全国との比較で、大きな違いがあった主な項目をまとめた。

(囲み内の数値は、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合を合わせた数値と全国との差を示す)

【分析結果1】

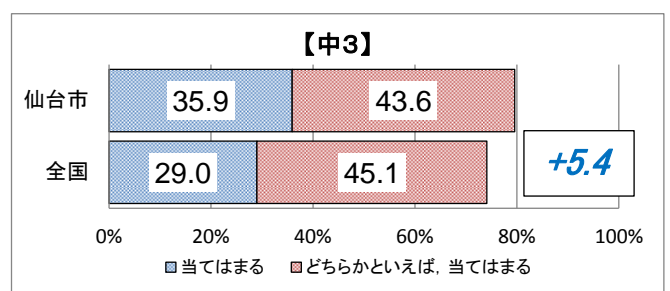
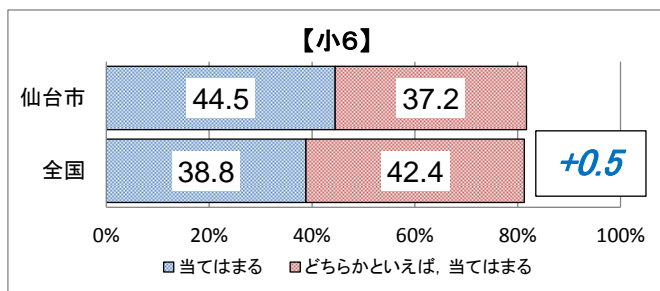
「自分には、よいところがあると思う」という自己肯定感に関する項目について、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学生は全国と同等であり、中学生は全国より上回っている。

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒の割合は、小学生は全国と同等、中学生は全国をやや上回っている。

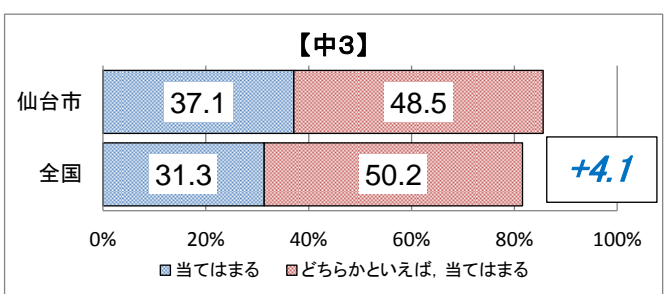
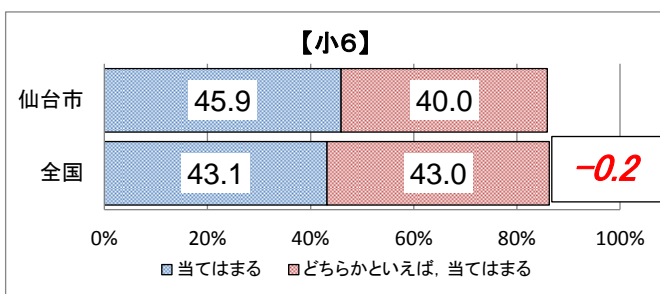
「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した児童生徒の割合は、全国と比べて、やや下回る。

「規範意識」に関する項目において、「いじめはいけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童生徒の割合は、いずれも全国とほぼ同等である。

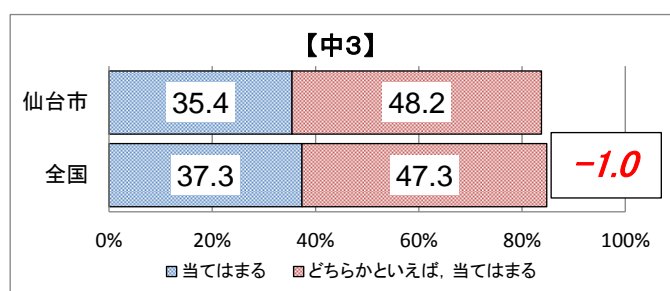
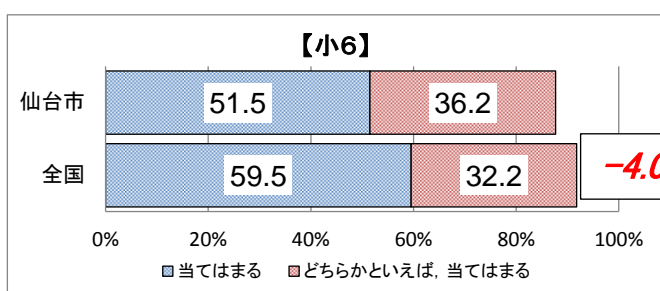
5. 自分には、よいところがある



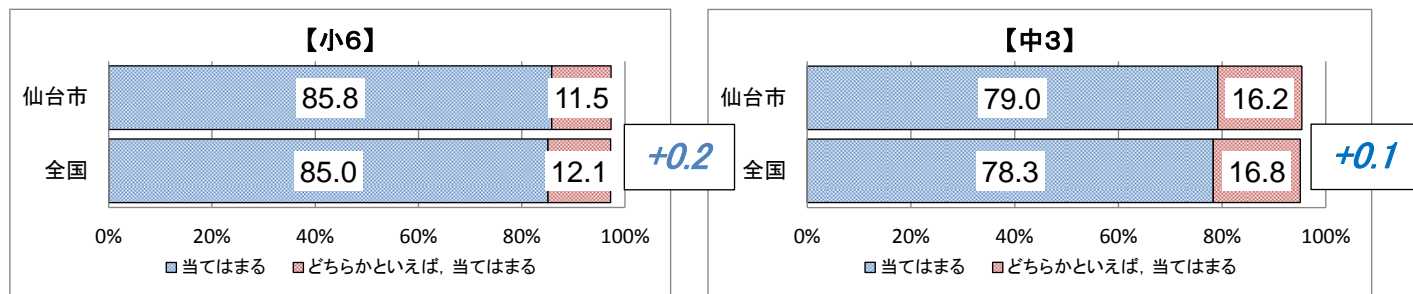
6. 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う



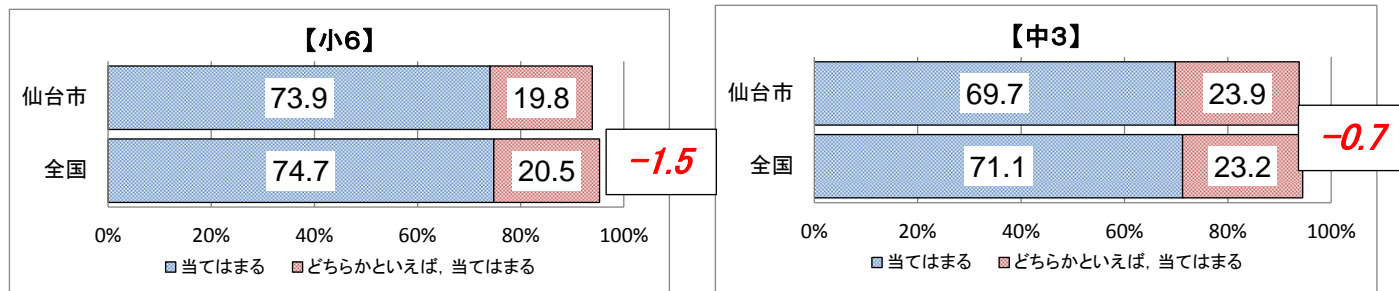
7. 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる



### 15. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



### 16. 人の役に立つ人間になりたいと思う



#### □指導改善の方策

##### ○ 時機を捉えた児童生徒の評価

- ・児童生徒と向き合い、児童生徒の諸活動の取組の過程や成果について、共感的に認めたり、励ましたりするなど、時機を捉えて積極的に評価するようにする。併せて、放課後等の補充学習を充実させるなど、学習支援を必要とする児童生徒に対するサポート体制を学校の実態に応じて拡充したり、指導方法工夫・改善加配を適切に配置したりして、児童生徒と向き合う時間の確保に努める。

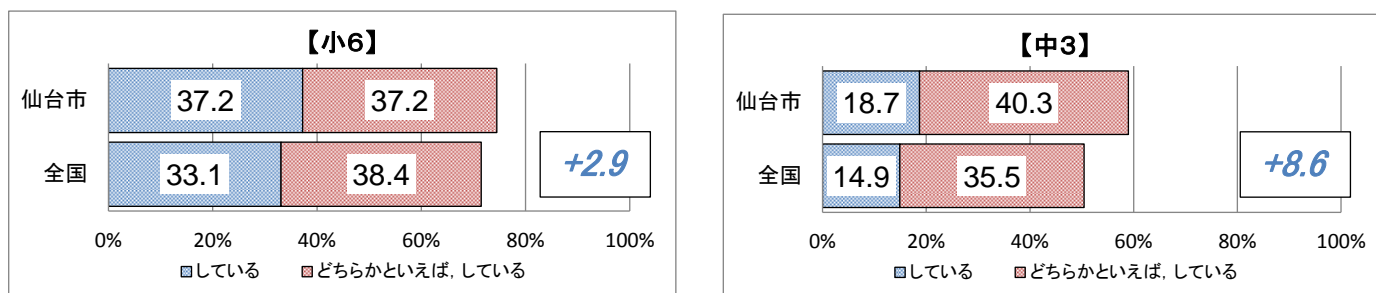
##### ○ たく生き（たくましく生きる力育成プログラム）の実践

- ・人の役に立っていると実感できるような体験を意図的に設けるようにして、自己有用感を高めていく。併せて、自分自身のよさ等を振り返ることで、自分を受け入れられるように、「たくましく生きる力育成プログラム授業プラン集」の活用を各学校の自分づくり教育年間指導計画に位置付け、授業プランの実践等をとおして、自己受容も併せて育てていく。

### 【分析結果2】

「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童生徒の割合は、小学生は昨年度より上回り、小・中学生ともに全国に比べて高い結果となっている。

### 17. 家で、自分で計画を立てて勉強をしている



## □指導改善の方策

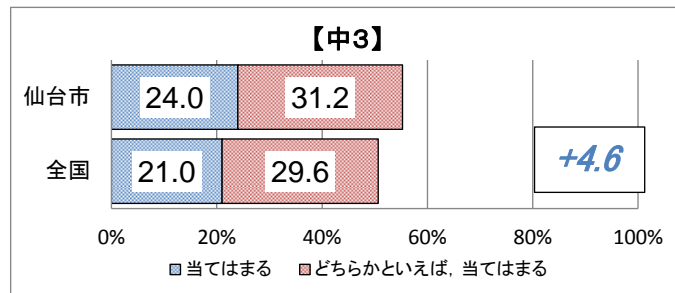
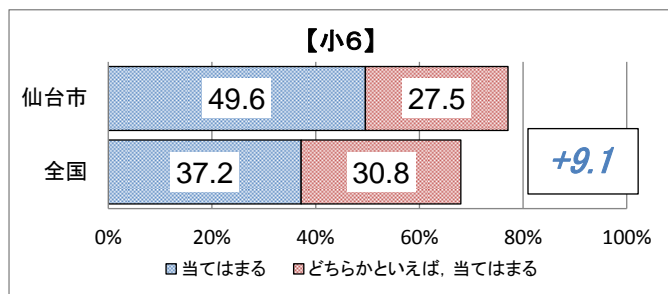
### ○ 児童生徒が学びや変容を自覚し、課題を持たせるような指導

- ・各教科の授業において、児童生徒が自らの学習活動を振り返って、学びや自己の変容を自覚できるようにし、自分自身で課題を把握して目標を立て、改善のための「学習計画」を立てるなど、意図的に家庭学習の習慣の定着を図るようにする。

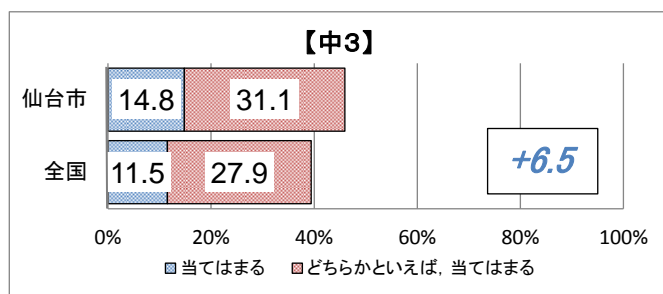
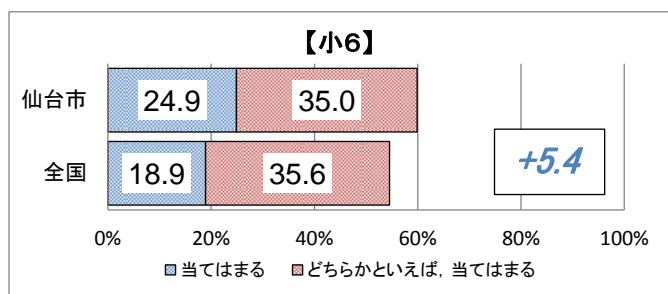
## 【分析結果 3】

「地域との関わり」に関する項目において、児童生徒は、昨年度よりも上回り、また、全国と比べても上回る。地域との連携が進み、地域への関心が更に高まっている。

### 2 3. 今住んでいる地域の行事に参加している



### 2 4. 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある



## □指導改善の方策

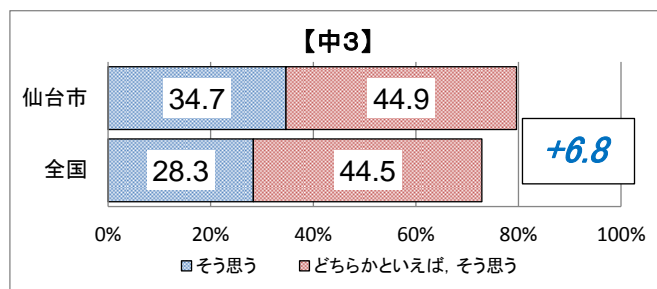
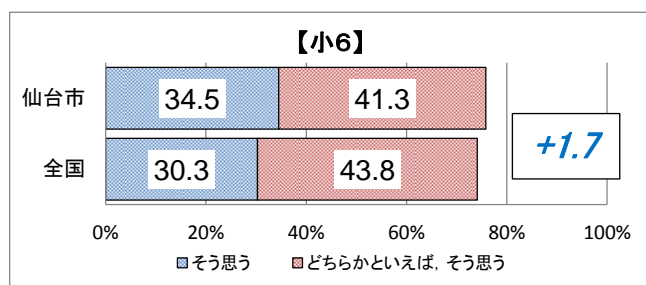
### ○ 学びを社会や地域で活用させる態度の育成

- ・学校支援地域本部等の活用をとおして、児童生徒が地域と関わる機会が増えてきていることから、児童生徒、保護者、地域の求めを把握し、それぞれの立場から、児童生徒に対するより質の高い支援に結び付くように、学校が意図的・計画的に児童生徒がより積極的に地域に関わる場を設定するなど、学びを社会や地域に生かそうとする態度を育成する。

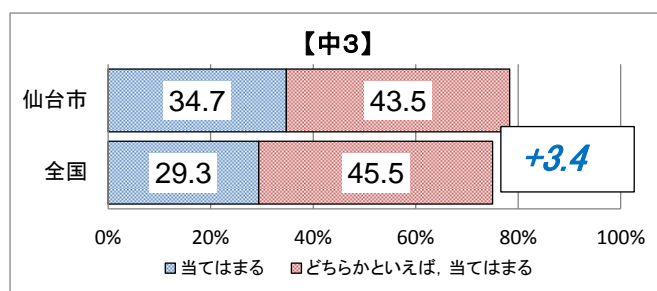
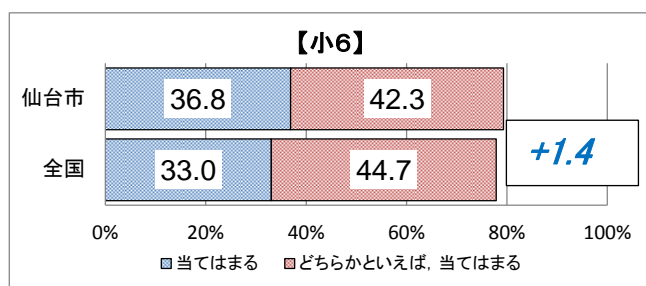
## 【分析結果 4】

主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善について、課題解決的な学習活動や言語活動に取り組んでいると回答した児童生徒の割合は、全国よりも上回っている。また、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると回答した児童生徒の割合は、昨年度よりやや増加し、全国よりも上回っている。

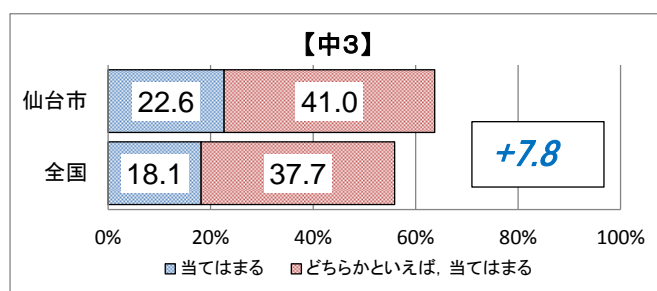
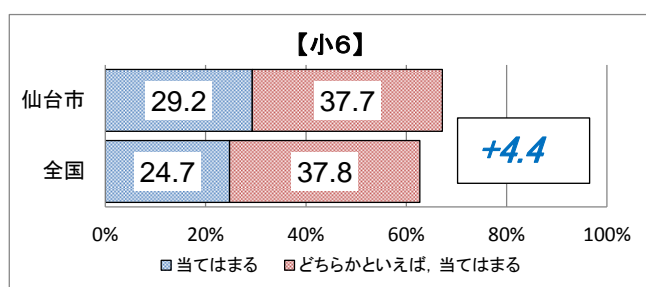
3 2. 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う



3 7. 5年生（中2）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う



3 8. 5年生（中2）までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う



### □指導改善の方策

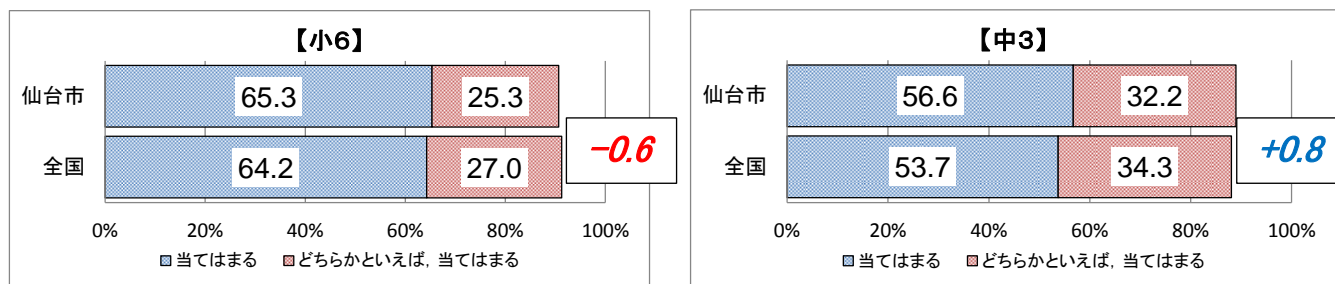
#### ○ 習得・活用及び探究を見通した指導過程の工夫・改善

- 各教科において、児童生徒が身に付けた資質・能力が様々な課題を解決するに当たり、活かされていると実感できるような深い学びが実現するように、習得・活用、探究の過程を見通した指導過程の工夫・改善に学校で組織的に取り組むようにする。

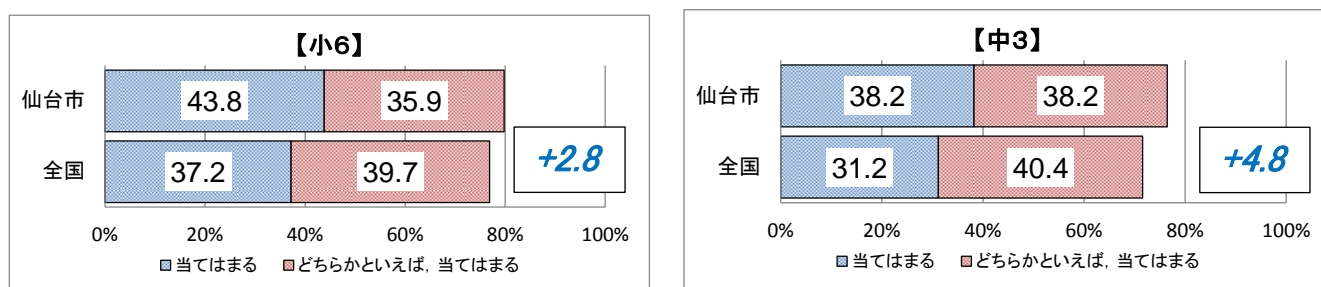
## 【分析結果 5】

国語では、実社会・実生活と学習内容に関する項目では、肯定的に回答している児童生徒の割合は、中学生が全国よりもやや上回る。また、相手に伝わるように効果的に表現することや目的に応じて読むことに関する項目では、肯定的に回答している児童生徒の割合は、小・中学生ともに全国を上回っている。

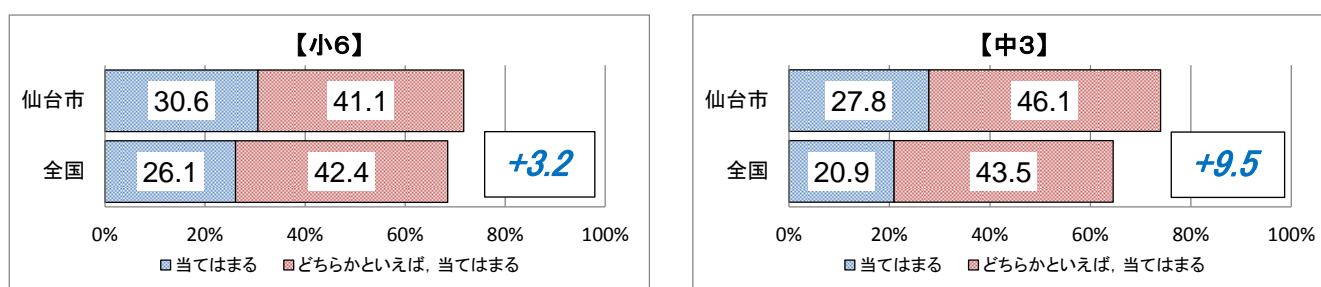
### 4 3. 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う



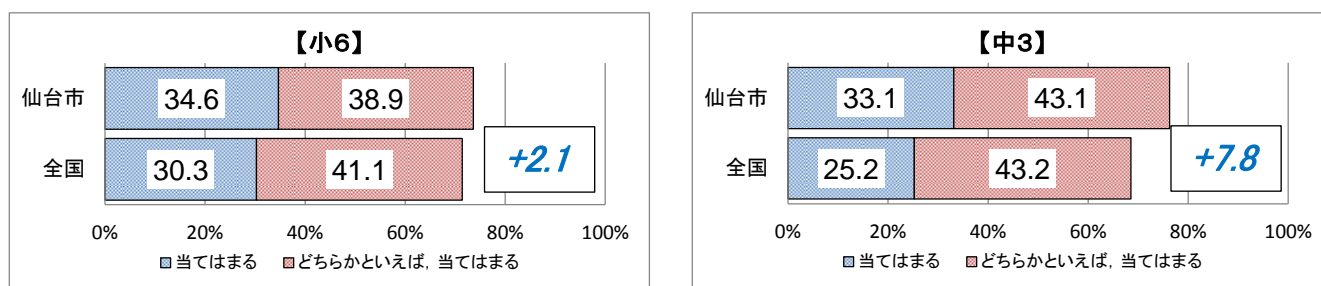
### 4 4. 国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている



### 4 6. 国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするときに、うまく伝わるように理由（根拠）を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫している



### 4 7. 国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいる



□指導改善の方策

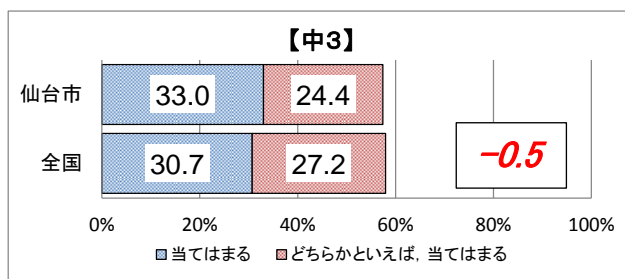
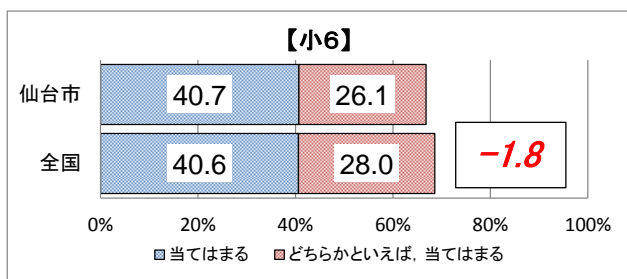
○ 目的に照応して、適切に表現できるような指導

- ・相手や目的に応じて、適切な話し方や効果的な記述の仕方を考えたり、聞いたり、読んだりするとき、その内容だけではなく、なぜそのように書くのか、話すのか、目的や理由、効果を考えたりするような指導の改善や充実に取り組む。

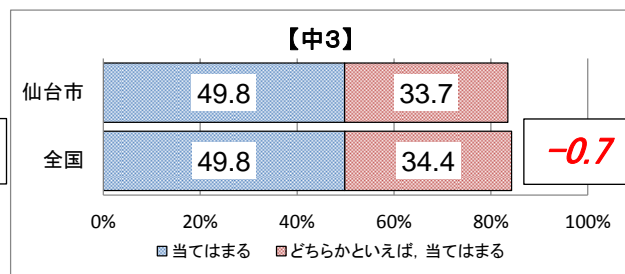
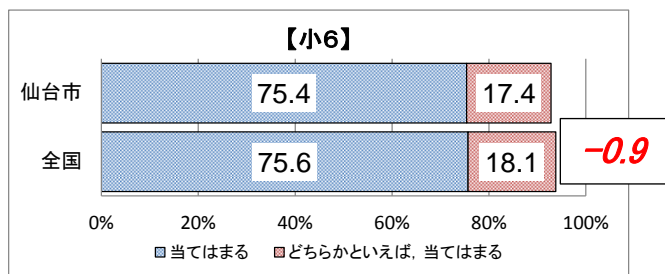
【分析結果 5】

算数・数学では、関心・意欲・態度に関する項目において、肯定的に回答する児童生徒の割合は、小・中学生ともに全国よりやや下回る。また、「算数・数学の授業の内容はよく分かる」と回答した割合は、小・中学生ともに全国をやや下回っている。実社会・実生活と学習内容に関する項目では、肯定的に回答している児童生徒の割合は、小学生においては、昨年度よりも上回るものの、小・中学生ともに全国よりも下回る。

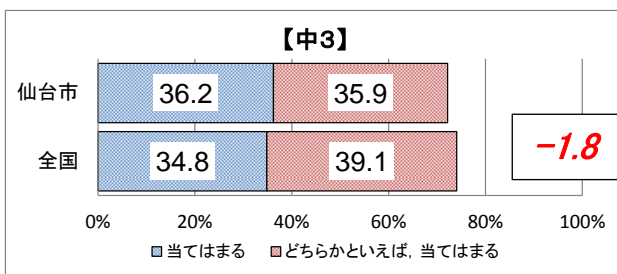
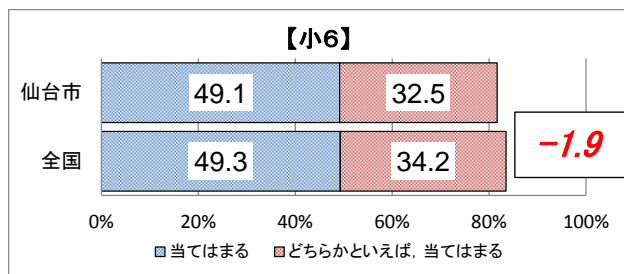
49. 算数・数学の勉強は好きですか



50. 算数・数学の勉強は大切だと思う

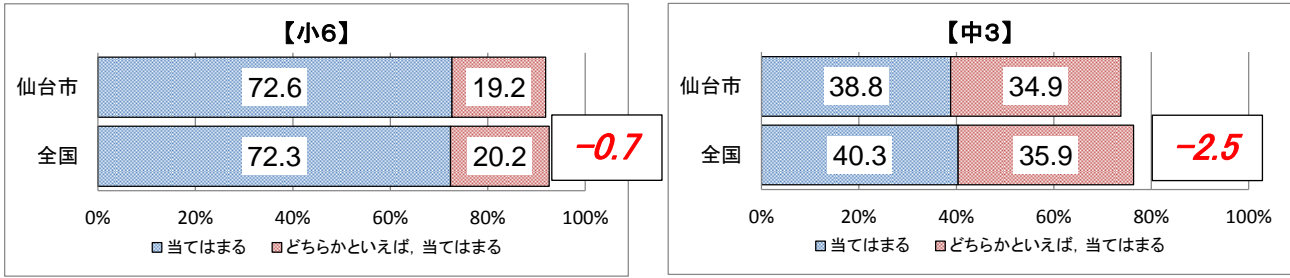


51. 算数・数学の授業の内容はよく分かる





5 2. 算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う



□指導改善の方策

○ 実社会・実生活との関連を図った指導の工夫

- ・実社会・実生活での事象と学習内容を関連付けて指導するなど、算数・数学で学んだことが生活や学習に活かされていることを実感し、学習内容について、理解を更に深められるようにする。

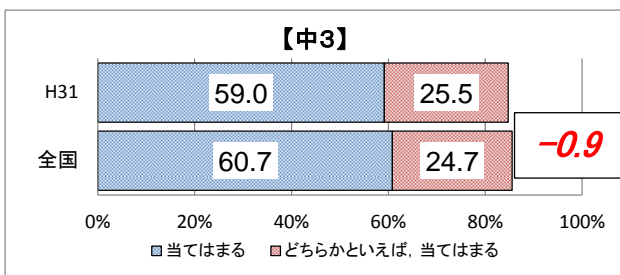
○ つまづきが見られる児童のサポート体制の整備

- ・小学校高学年算数において、算数が苦手とならないように、小学校中学年の学習内容をしっかりと定着させる必要がある。そのために、放課後等学習支援事業の充実を図るなどして、つまづきが見られる児童のサポート体制を整え、分かる喜びから学習意欲の向上や自信へとつなげていく。

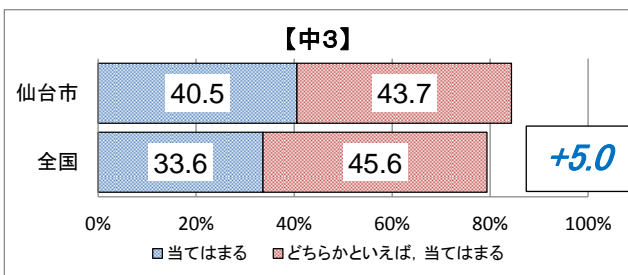
【分析結果6】

英語では、実社会・実生活と学習内容に関する項目で肯定的に回答している生徒の割合は、全国よりやや下回っている。一方、「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「書くこと」に関する項目において、肯定的に回答している生徒の割合は、全国より上回っているが、「話すこと(発表)」は全国をやや上回っている状況である。

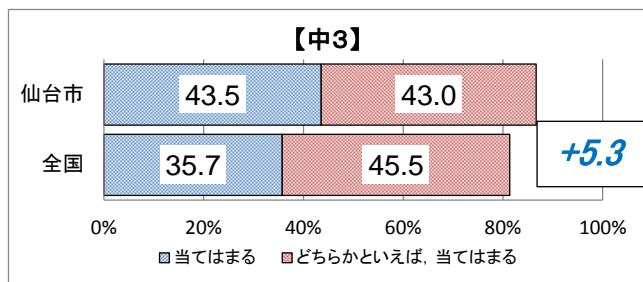
6 3. 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う（中学生のみ）



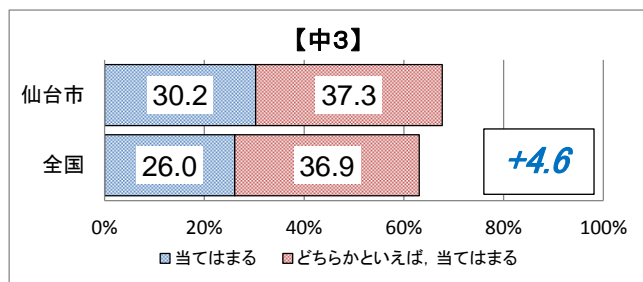
6 6. 1, 2年生で受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われたと思う（中学生のみ）



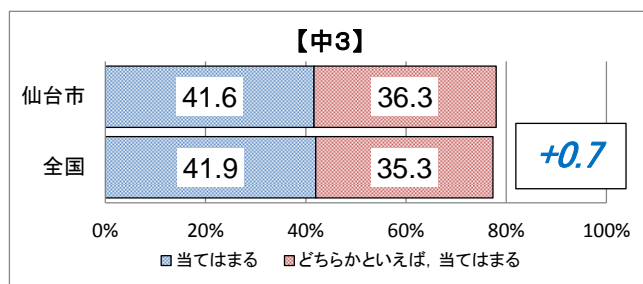
67. 1, 2年生で受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われたと思う（中学生のみ）



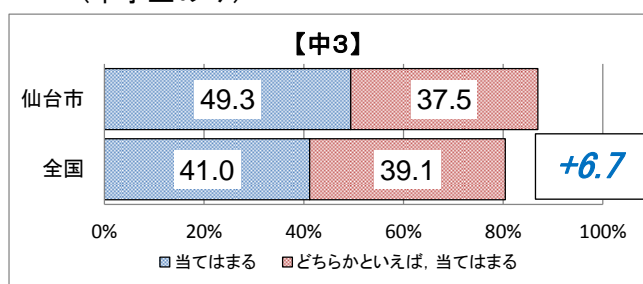
68. 1, 2年生で受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われたと思う（中学生のみ）



69. 1, 2年生で受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われたと思う（中学生のみ）

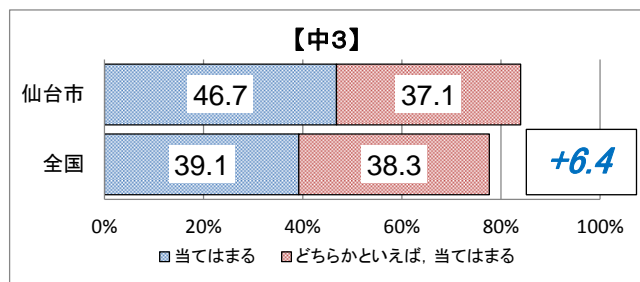


70. 1, 2年生で受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われたと思う（中学生のみ）

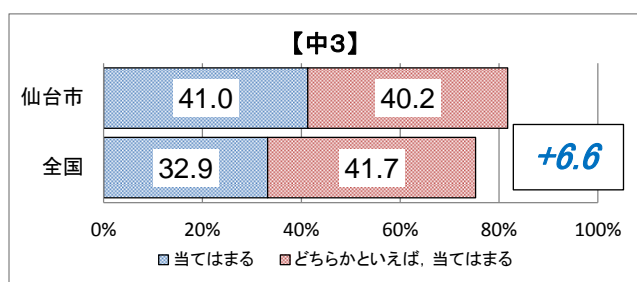




7 1. 1, 2年生で受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われたと思う（中学生のみ）



7 2. 1, 2年生で受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語でまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われたと思う（中学生のみ）



#### □指導改善の方策

##### ○ 与えられたテーマについて、考えを整理し、まとまりのある内容を話すようにする指導

- ・コミュニケーションの目的、場面、状況を意識した具体的な課題を設定し、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせられるような言語活動を意図的に設定することが大切である。全体の文章構成を考えたり、一度発表した内容を構成面から振り返らせたりする指導をする。

##### ○ 情報や考えを即興で伝え合えるようにする指導の工夫

- ・情報や考えを即座にやり取りしたり、相手の発話の内容を踏まえて、それに関連した質問や考えを話したりして、会話を継続させられるように、日頃の授業で計画的に即興的にやり取りする活動を増やすようにする。